

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公開番号】特開2015-70975(P2015-70975A)

【公開日】平成27年4月16日(2015.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-025

【出願番号】特願2013-208679(P2013-208679)

【国際特許分類】

A 4 7 L 9/04 (2006.01)

【F I】

A 4 7 L 9/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

平行四辺形の基台の 1 組の辺に平行にブレードまたはブラシを固着あるいは植設した清掃体を、複数枚、ロータに固定した電気掃除機用吸込口の回転ロータであって、複数枚の前記清掃体のそれぞれの前記基台の平行四辺形の他の 1 組の辺の前記ロータに接触している部分の合計を、前記ロータの周長と略一致させて、複数枚の前記清掃体を前記ロータに固定したことを特徴とする電気掃除機用吸込口の回転ロータ。

【請求項 2】

平行四辺形の基台の 1 組の辺に平行に複数列のブレード又はブラシを固着あるいは植設した清掃体がロータに固定されてあることを特徴とする請求項 1 に記載の電気掃除機用吸込口の回転ロータ。

【請求項 3】

清掃体は、基台を所定幅重ね合わせてロータに固定されてあることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の電気掃除機用吸込口の回転ロータ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記従来の課題を解決する為に、請求項 1 の回転ロータの発明は、平行四辺形の基台の 1 組の辺に平行にブレードまたはブラシを固着あるいは植設した清掃体を、複数枚、ロータに固定した電気掃除機用吸込口の回転ロータであって、複数枚の前記清掃体のそれぞれの前記基台の平行四辺形の他の 1 組の辺の前記ロータに接触している部分の合計を、前記ロータの周長と略一致させて、複数枚の前記清掃体を前記ロータに固定したことを特徴としている。請求項 1 の発明では、予め複数枚の平行四辺形の基台を有する清掃体を作成しておくことで、複数種類の清掃体をロータに固定するだけで回転ロータを作成することができ、端部をカットするような余分な作業を必要としないことから、製造コストを低減させることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項2の発明は、請求項1に記載の構成よりなる回転ロータにおいて、平行四辺形の基台の1組の辺に平行に複数列のブレード又はブラシを固着あるいは植設した清掃体がロータに固定されてあることを特徴としている。請求項2の発明では、複数列のブレード又はブラシを固着あるいは植設する場合に、平行四辺形の基台の1組の辺に平行に配置することで、ロータに固定した場合には、一定の捻り角度の螺旋状のブレード又はブラシを容易に形成させることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項3の発明は、請求項1又は2に記載の構成よりなる回転ロータにおいて、清掃体は、基台を所定幅重ね合わせてロータに固定されてあることを特徴としている。請求項3の発明では、複数枚の清掃体をロータに固定する場合に、基台を所定幅重ね合わせて作成することによって、清掃体が剥がれてロータから分離するのを防ぐことができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項1の発明では、複数種類の清掃体をロータに固定するだけで回転ロータを作成することができ、端部をカットするような余分な作業を必要としないことから、製造コストを低減させることができる。